

青花 せいか かわらばん 瓦版

2008年1月25日発行 通巻第100号
発行 佐賀県 西松浦郡 有田町 黒牟田 しん窯青花
電話 0955-43-2215 FAX 0955-43-2889
URL <http://shingama.com/shingama.html>
E-Mail Address sei ka@po.saganet.ne.jp
発行責任者 梶原茂弘

第百号

休刊のおわびと季刊号のお知らせ

「青花瓦版」が今月号で100（百寿）号を迎えました。100号を記念して、工房の職人さん達を総動員して紙面を飾っていただきました。1999年10月創刊号以来、丸8年4ヶ月の発刊になります。小さな窯元の小さな情報発信ですが、志は大きく、世界の有田を見据えてグッドニュースを拾ってきました。これからは毎月発行とはいきませんが、季刊号として新春・春・夏・秋に出ささせていただきたいと思えます。よって2・3月号はお休みして、4月春号でお目にかかりたいと思えます。相変わらずの拙文にて失礼致します。しん窯ネットショップHPの店長（橋口博之専務）日記共々ご愛顧の程を宜しくお願い申し上げます。

7人の侍

「7人の侍」は、言うまでもなく黒澤明監督の大傑作時代劇映画です。私もテレビで放映されるたびに見ました。この映画に魅せられたジョン・スタージェス監督の「荒野の7人」も痛快でした。

さて、主題の7人の侍は、しん窯自慢のロク口師集団の事です。今年の車おろしの儀式では、ベテランから私のような新米まで7人の職人さん達がロク口の前に座って初仕事に思い思いの器を作りました。

来年の車おろしでは10人のロク口師が揃えばさぞ圧巻だろう、と初夢を語り合いました。



しん窯スタッフより、瓦版100号によせて

子供達へ伝えたい事・・・一番になるより、かけがえのない存在であってほしい・・・人と比べるより、自分らしく生きてほしい・・・人と比較しなくなると、自由になれるんですよ！心が自由に！ / 愛読者皆様方へ。これから寒さも厳しくなりますので、風邪等気をつけて、青花瓦版今年もよろしくお願ひいたします。 / 青花瓦版100号おめでとうございます。毎月定期的に文書を書くという作業は大変なことだと思います。質量とも社長の足元にも及びませんが、店長日記を書いて、その域まで近づきたいです。 / 祝100号！8年4ヶ月もよく続けられたと思います。次号からは季節感のある情報誌になれば良いと思います。 / 約8年間続ける事はすごい。時代は変化し、現在ではブログなどもありますので、また新しいスタイルでの進化を！ / 瓦版100回記念、しん窯まめ知識。今年のNHK大河ドラマ篤姫は1835年誕生です。この時代しん窯は天保年間1830年に創業しています。 / 仕事に感謝。道具に感謝。会社のみなさんに感謝。お客様に、そして瓦版を読んで下さった人達に感謝します。 / 地道に百回とはすごいですね。私も暑い日も寒い日もコツコツと窯積みしています。二百三百回を目指し、楽しみにしています。 / 青花瓦版100号ということで、これもコツコツ積み重ねた結果なんだと思います。自分も何でもいので積み重ねていければと思います。 / 「こんな器が欲しいのだけど・・・」とお考えの方、当社までご連絡下さい。ご期待に添えるよう、心を込めて制作させていただきます。 / 瓦版100号おめでとうございます。電話当番の時に昔の物を読んでいます。これからも頑張ってください。 / 日々の仕事が、瓦版の良いニュースとして紙面を賑わす事に繋がっていきるように、これからも頑張っていきたいと思います。

100号記念まで続いてこられた事にお疲れさまです。これからもインターネットの皆様との付き合いを大切に続けていって下さい。 / 不景気の 風を飛ばせよ 百寿号 / 祝百号。8年4ヶ月の頑張りお疲れ様です。竹は節目で大きくなるといいます。この節目からの新生瓦版を楽しみに待ちたいと思います。 / 石の上にも三年と言いますが、約9年間・・・三日坊主の私には、ただただすごい！としか言いようがありません。～職人さんの一言～は好きですね。毎日顔を合わせ話をしている、新しい一面が見えて良いと思います。次号からはいよいよ女性軍ですね。楽しみです。 / 青花瓦版100号と同じタイミングで角くんのひな人形シリーズも完成して、ダブルでおめでとうございます。 / 入社して15年目になりました。その間、結婚し4人の子供にも恵まれました。とてもあたたかい会社で仕事ができ幸せです。 / 瓦版100号おめでとうございます。奥深い濃みの世界に身を置き、日々精進したいと思います。 / 以前お客様に「すてきな陶器に囲まれて幸せですネ。」と言われた時、この仕事を続けて来て良かったと思いました。 / これまで何年もの間書き綴ってこられたご長寿情報誌「青花瓦版」に少しでもかかわることができて、誇りに思います。 / 大切な人達がいる。その人達にはいつも笑顔でいてほしいと願う。だから私も笑顔でいよう。太陽でいよう。

